

2020（令和2）年度 遺棄化学兵器廃棄処理事業 予算政府案について



令和2年2月26日(水)
第20回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

遺棄化学兵器廃棄処理事業費（遺棄化学兵器処理担当室）

令和2年度予算（案） **542.5億円**
（令和元年度予算額 342.0億円）

事業目的・概要

○化学兵器禁止条約（平成9年4月29日発効）に基づき、中国において、旧日本軍が遺棄した化学兵器の処理事業を実施します。

ハルバ嶺における発掘・回収及び廃棄処理事業

大量の遺棄化学兵器が埋設されているとされる吉林省ハルバ嶺で発掘・回収、廃棄処理等を行っています。

平成24年度から発掘・回収、平成26年度から廃棄処理をそれぞれ開始しており、令和2年度は、令和4年中の廃棄完了に向けて事業の促進を図る予定です。

移動式処理事業

平成22年度から輸送可能な移動式処理設備で廃棄処理等を行っています。

令和元年度からハルビン市での廃棄処理を開始しており、令和2年度も引き続き実施する予定です。また、令和2年度に機動性の高い新設備（令和3年度に太原で稼働予定）が完成予定です。

各地発掘・回収事業

平成12年度から中国各地（ハルバ嶺を除く）で遺棄化学兵器の発掘・回収等を行っています。令和2年度は黒竜江省尚志市、佳木斯市等で実施する予定です。

事業増減内容

○**ハルバ嶺事業** **347.9億円**（191.4億円）

【主な要因】

- ・大型廃棄処理設備等導入による国庫債務歳出化の増（+131億円）
- ・大型廃棄処理設備等導入に関連する輸送経費の増（+39億円）
- ・大型廃棄処理設備関連建設工事費の減（▲39億円）

○**移動式処理事業** **88.9億円**（43.8億円）

【主な要因】

- ・高機動型処理設備（I型）導入等による国庫債務歳出化の増（+12億円）
- ・石家荘保管廃棄物中国国内輸送費及び原状回復工事の増（+10億円）
- ・砲弾輸送費の増（+8億円）

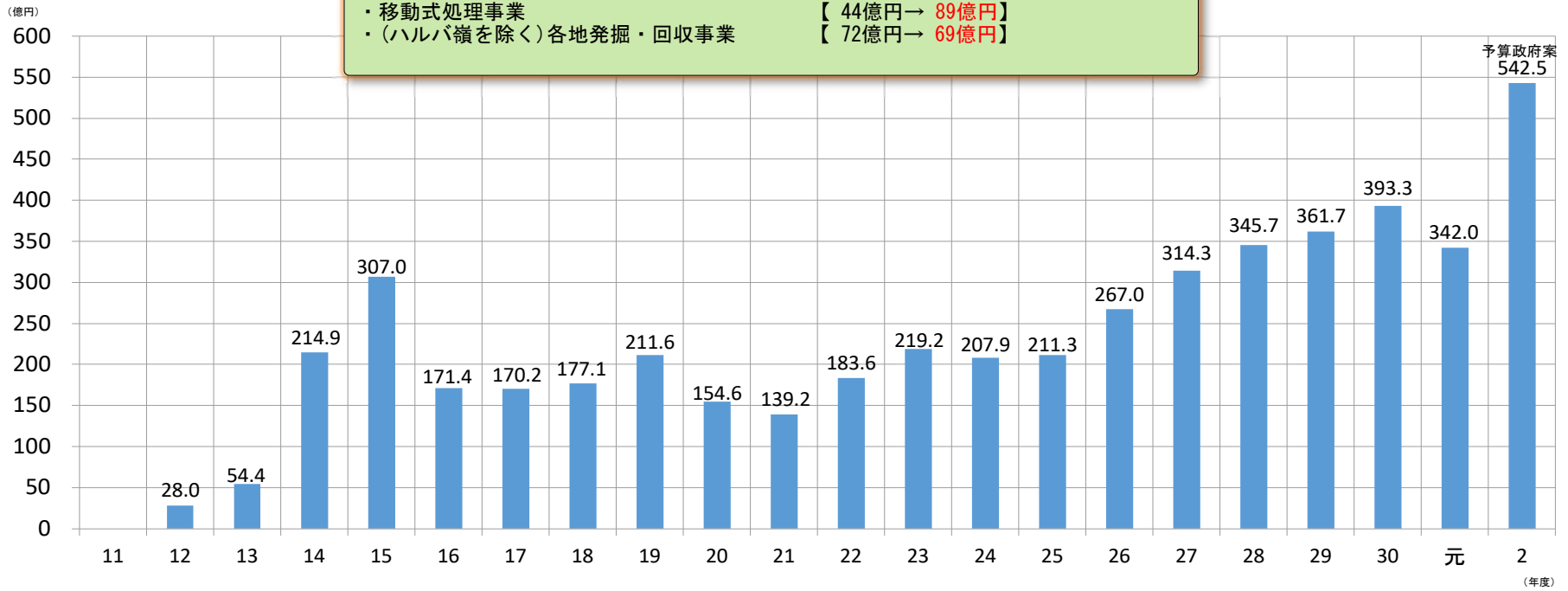
○**各地発掘・回収事業** **69.4億円**（71.6億円）

【主な要因】

- ・ジャムス作業日数増等による増（+4億円）
- ・尚志作業日数減による減（▲6億円）

遺棄化学兵器処理事業に係る予算の状況について

【令和元年度 約342億円 → 令和2年度予算政府案 約542億円 (+200億円)】
 主な内訳：
 ・ハルバ嶺事業 【191億円→348億円】
 ・移動式処理事業 【44億円→89億円】
 ・(ハルバ嶺を除く)各地発掘・回収事業 【72億円→69億円】



年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
当初予算額	-	28.0	54.4	214.9	307.0	171.4	170.2	177.1	211.6	154.6	139.2	183.6	219.2	207.9	211.3	267.0	314.3	345.7	361.7	393.3	342.0	542.5
当初予算額累計	-	28.0	82.5	297.4	604.4	775.8	946.0	1,123.1	1,334.7	1,489.4	1,628.6	1,812.2	2,031.4	2,239.3	2,450.6	2,717.6	3,031.9	3,377.6	3,739.4	4,132.7	4,474.7	5,017.1

(注)平成11年度は補正予算(8.1億円)のみ計上